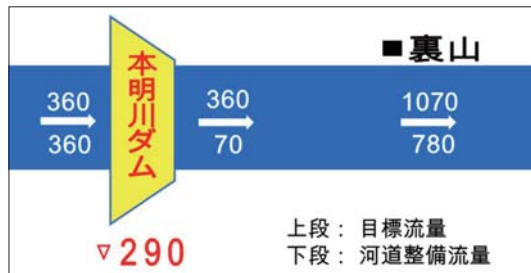


本明川ダムは、本明川をより安全・安心で、豊かな流れとするために作られます。

本明川ダムの目的：①洪水調節 ②流水の正常な機能の維持

① 洪水調節

基準地点裏山において、河川整備の目標流量（諫早大水害相当） $1,070\text{m}^3/\text{s}$ に対して、本明川ダムの洪水調節により $290\text{m}^3/\text{s}$ の流量を低減し、河川整備流量である $780\text{m}^3/\text{s}$ が流下できるようにします。

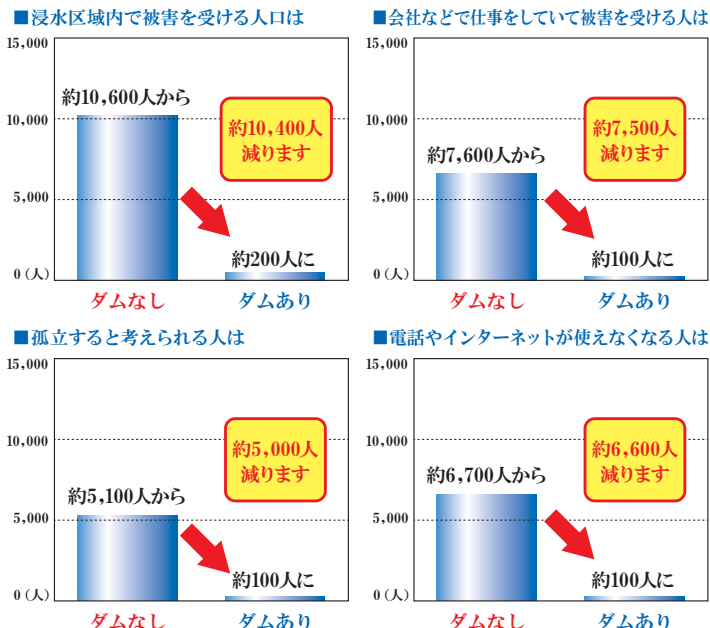


河川整備計画の河道整備流量配分図 (単位: m^3/s)



洪水調節効果 (高城橋上流地点)

洪水による被害を受ける人はこんなに減ります！



平成11年の出水

② 流水の正常な機能の維持

渇水時の良好な河川環境の維持と、ダム下流の既得農業用水が安定的に取水できるよう、本明川の流量を確保します。（※公園堰（直下流）地点で概ね $0.25\text{m}^3/\text{s}$ の流量を確保）



流量 $0.04\text{m}^3/\text{s}$ 時（瀬切れ）



流水の正常な機能の維持効果 (公園堰下流)



流量 $0.25\text{m}^3/\text{s}$ 時（水補給後）